

(共通設問)

WEB ページでリンクを貼っても良いWEB ページ、SNS (facebook, twitter 等)などを教えてください。

WEB ページ URL	<a href="http://jcp-chiba.web5.jp/">http://jcp-chiba.web5.jp/</a> 日本共産党千葉県委員会
Facebook	<a href="https://www.facebook.com/fumiko.asano.18">https://www.facebook.com/fumiko.asano.18</a> 浅野史子
Twitter	@asahum814 浅野ふみ子 (史子)

問1. 「Manifesto from Yong Voters～若者たちの選択 若者からの10の提言～」の内容をお読みいただき、それぞれの項目について、賛成・反対のどちらのご意見かお選びいただき、○を記入してください。

(1) 消費税率は、当面は8%のままとするが、将来は10%への引き上げを行うべき。

	賛成		反対
--	----	--	----

(2) 年金制度は、賦課方式から税・積立二段階方式に移行すべき。

	賛成		反対
--	----	--	----

(3) 「幼児教育・保育」、「私立高校の授業料」、「大学等の高等教育の授業料」の実質無償化を進めるべき。

	賛成		反対
--	----	--	----

(4) 子育てに悩む保護者のため、保護者の「心のケア」、悩みの解決など、子どもたちと保護者に「寄り添い」、問題を解決していく機関として、「子ども相談所」を設立すべき。

	賛成		反対
--	----	--	----

(5) 地域の中小企業の振興が不可欠です。そこで、「地産地消」や「特産品」の開発のための支援制度（補助金や投資減税制度）を充実させるべき。

	賛成		反対
--	----	--	----

(6) ローカル鉄道を守り、便利にするための財政的措置を拡充させるべき。

	賛成		反対
--	----	--	----

(7) 関係人口の創出のために、「地域マネジメント商社」設立するための支援を実施すべき。

	賛成		反対
--	----	--	----

(8) しっかりと「働き」、しっかりと「休む」ことができる「働き方改革」で生産性の向上を目指すべき。

	賛成		反対
--	----	--	----

(9) 高齢世代のセカンドキャリア支援の推進すべき。

	賛成		反対
--	----	--	----

・安心して暮らせる年金を保障する事が何よりも大切と考えます。その上で、生活のためだけではなく、それまでの豊かなスキルや知識、経験を活かし、社会で活躍をしようとセカンドキャリアを希望する方への支援は必要と考えます。『定年退職後も「年金プラスα」の収入を稼げる』ための支援とは主旨が異なるため、回答は「該当なし」とさせていただきます。

(10) 若者ための政策を実現するために、財源の世代間「見直し」を実施すべき。

	賛成		反対
--	----	--	----

問 2. 以下の政策について、最も近い考え方をひとつだけお選びいただき、○を記入してください。

(1) 消費税問題

	本年 10 月に、消費税の税率を 10%に引き上げるべき
○	当面は、消費税の税率は 8%に据え置くべき
	消費税の税率は、5%に引き上げるべき
	消費税を廃止すべき

(2) 憲法改正

	憲法 9 条に「自衛隊」を明記する改正を行うべき
	憲法改正の議論を進めるべき
○	憲法は改正すべきではない
	その他 ( )

(3) 原発問題

	厳しい審査基準をクリアすれば、原発を再稼働しても良い
	2030 年代までに脱原発を進めていくべき
○	即時、原発を廃止すべき
	その他 ( )

(4) 私立高校の授業料無償化

○	私立高校の授業料は、全ての世帯で無償化すべき
	私立高校の授業料は、所得制限を課した上で、対象となる世帯について無償化すべき
	私立高校の授業料は、無償化すべきではない

(5) 学校給食の無償化

○	小中学校の給食は、全ての学校で無償化すべき
	小中学校の給食は、公立の学校のみで無償化すべき
	小中学校の給食は、全ての学校で無償化ではなく、就学助成制度を拡充させ、負担が軽減できるようにすべき
	小中学校の給食は、無償化すべきではない

問3. 当選後、最も取り組みたい、実現したい政策テーマは何ですか。

差別や分断をなくし、誰もが自分らしく生きられる社会を実現します。

「女らしさ」「男らしさ」など社会的に作られた性差による役割分担や性差別である「ジェンダー」。セクハラ、性暴力、DVなどの「女性に対する暴力」。パワハラ、マタハラなどのハラスメント。LGBTやSOGI（性的指向・性自認）に関する差別。在日外国人に対するヘイトスピーチ。これらはすべて個人の尊厳・人格を傷つける許されない行為です。

男女の賃金格差をなくす、民法・戸籍法の改正で選択制夫婦別姓を実現する、セクハラ・パワハラ禁止を法律に盛り込むなど、差別・ハラスメントをなくす政策をすすめるとともに、被害者の救済・支援の制度を強化します。同性婚・パートナーシップをすすめる法改正や「LGBT差別解消法」を成立させます。

あらゆる差別をなくし、社会のすべての構成員が個人の尊厳を大事にされ、くらしやすい社会の実現に全力を尽くします。

問4. 若者に期待することは何ですか。また、国の借金、年金問題、社会保障の給付額の世代間格差、エネルギーなど、現役世代と将来世代との間の利害対立や世代間格差について、どのようにお考えですか。

未来を担う若者一人ひとりが輝ける社会にしていきたいと考えています。若者が主権者として次代を支え、その将来に希望を持てる社会にするために、政治が責任を果たさなければなりません。

私たちは「くらしに希望を」という3つプランを提案しています。一つは「8時間はたらけばふつうに暮らせる社会」です。最低賃金を時給1500円に引き上げる、「残業代ゼロ」制度を廃止する、正規雇用があたりまえのルールをつくることにより実現します。二つ目は「お金の心配なく学び、子育てできる社会」です。大学や専門学校等の授業料を半額にし、

段階的に「0円」にしていく、私立の負担を減らし、高校教育を無償にする、学校給食なども含め義務教育は完全無償化することで、誰もが安心して学べる社会をつくります。三つ目は「暮らしを支える社会保障の実現」です。減らない年金にする、子どもの医療費を無料化にする、低所得者の介護保険料の負担を3分の1にする等の政策をすすめます。

これらの政策を実施するための財源は消費税に頼らず、税制や歳出の改革で確保します。まず税制の不平等をただします。所得が1億円程度を超えると負担率が下がってしまう所得税率を見直し、優遇されている大企業の法人税率を中小企業なみにします。歳出は米軍への「思いやり予算」などを廃止します。これらの改革で7.5兆円の財源を生み出し、3つのプランを実行します。

さらに将来的には、大企業と富裕層に応分の負担をもとめ、無駄な大型公共事業や軍事費などの浪費をなくします。家計を応援し、内需を増やす経済政策をすすめます。これらにより10年程度先には、国・地方あわせて20兆円前後の税収増を見込んでいます。税制や歳出の改革で財源を確保しながら、社会保障や教育予算の拡充をすすめれば、国債発行を今以上に大きく増やすこともありません。さらに、経済成長による税収増があれば、国債発行額を減らすことも可能になります。

エネルギーは再生可能な自然エネルギーを本格的に大量に導入するとともに、むだなエネルギー需要を削り、エネルギー効率の引き上げや省エネを徹底します。原発即時ゼロを決断し、地球環境・資源の上で持続可能な社会を目指します。

経済を安定的に成長させ、確保した財源で暮らしを支える政策を充実させれば、現役世代も将来世代も不安なく学び、はたらき、くらすことができます。世代間での利害対立や格差は政治のあり方で解消することができます。世代間の社会的連帯を構築したいと思います。

(選択設問)

問5から問13までの質問は、質問項目の名から「3問」をお選びいただき、ご回答頂ければ幸甚です。

問5. アベノミクスの成果と課題について、ご意見をお聞かせください。

問6. 地方創生や地域経済の活性化のために、今後、どのような政策が必要だと思いますか。ご意見をお聞かせください。

問7. こども子育て施策について、幼児教育・保育無償化以外に、どのような政策が必要だと思いますか。ご意見をお聞かせください。

問 8. 若年世代の雇用、ロスジェネ世代に非正規社員の割合が多い問題に対し、今後、どのような政策が必要だと思いますか。ご意見をお聞かせください。

非正規雇用が増大した背景には「直接雇用の原則」を根底から覆した「労働者派遣法」があります。安倍政権は2015年9月に労働者派遣法を大改悪し、直接雇用を派遣労働に置き換え「生涯ハケン」「正社員ゼロ」に道を開きました。

この派遣労働のあり方を「臨時的・一時的業務」に限定するように、「労働者派遣法」を改正するとともに、派遣受け入れ期間を1年とし、長期となった派遣職員の「正社員化」をすすめます。

派遣以外の非正規雇用の実態も、低賃金で細切れの雇用契約の更新を繰り返すなど深刻です。最低賃金を1500円に引き上げ、正社員との「同一労働・同一賃金」など均等待遇をすすめます。契約途中での解雇、契約更新時の「雇止め」を厳しく規制します。

非正規雇用の働き方を改善する政策をとるとともに、非正規雇用から正社員への流れをつくることが重要だと考えます。

問 9. 2025年には団塊の世代が75歳以上となりますが、今後の超高齢社会において、どのような政策が求められると思いますか。ご意見をお聞かせください。

高齢世帯が安心して暮らせる社会保障の充実と、その財源を現役世代や若い世代の負担増や、将来への借金にすることなく確保することが重要だと考えます。

年金は、自公政権が推進する「マクロ経済スライド」を廃止し「減らない年金」にします。そのための財源は年金保険料の上限額を健康保険と同じ年収約2000万円まで引き上げることで、新たに1兆円を確保。加えて約200兆円ある積立金を計画的に活用します。また、労働者の賃上げと非正規雇用の正社員化で、保険料収入と加入者を増やし年金財政を安定化させることで「減らない年金」実現します。

さらに、低年金者の年金底上げのため最低保障年金制度を創設します。すべての高齢者に月5万円を保障し、そこに支払った保険料に応じた額を上乗せする年金制度に抜本的に改革すれば、国民年金の満額は現在の月6万5000円から8万3000円に引き上がります。これには5～6兆円の財源が必要となります。賃上げを実施しながら、所得税の累進強化など、消費税に頼らずに財源を確保します。

また、「問4」の回答の通り、歳出と税制の改革で10年程度先には、国・地方あわせて20兆円前後の税収増が可能です。こうした財源を活用して、超高齢化社会においても、全ての世代が安心して暮らせる社会保障の充実は可能だと考えます。

問 10. 災害対策について、今後、どのような政策が求められると思いますか。ご意見をお聞かせください。

--

問 11. 東京オリンピック・パラリンピック開催にあたり、道路混雑等の問題が発生すると考えられますが、どのような対応が必要だと思えますか。ご意見をお聞かせください。

問 12. 中小企業振興のためには、どのような政策が有効だと思えますか。ご意見をお聞かせください。

問 13. 外交問題について、日本の優先課題はどのような問題だと思えますか。ご意見をお聞かせください。

問 14. 政治家を志されたきっかけや理由、国会議員を志されたきっかけや理由についてお聞かせください。

私は、自然災害を防ぎたいと国立木更津高専土木科にすすみ、初の女性土木技師として市役所に勤務しました。しかし、国や県の不要不急な大型開発が優先され、生活道路の補修などが後回しになる実態に直面し、国民のくらしに役立つ土木、災害に強い街づくりをしたいという思いを強く持つようになりました。

また、学生時代は奨学金を借り、アルバイトをしながら学び、生活をしていました。学費の軽減、給付制奨学金の実現の運動にも取り組みました。

誰もが自分らしく、学び、活躍する社会をつくりたい。税金は、大規模開発優先ではなく、くらし最優先に使う政治を実現したい。それが私が政治を志した初心です。

問 15. 現在、最も関心をお持ちの社会課題は何ですか。また、その課題に対して、具体的などのような方法で解決を目指されますか。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。